

事前機能チェックリスト

プロジェクト _____

PC-_____ 冷水配管 _____

含まれる要素機器: 全ての弁、但しコイルの弁を除く

関連するチェックリスト: チラー、冷却塔、冷却水配管、冷水および冷却水ポンプ

1. 提出物 / 承認

提出図書 上記の機器及びこれらにとって不可欠なシステムが完成、機能試験ができる状態にある。チェックリスト項目は完全であり、責任業者ごとに下記に示すように、直接に当該項目に熟知した業者によってのみそれは確認されている。この事前機能チェックリストは、添付のリストにあるように、現時点では未解決の問題を後日確実に完了させるという条件つきで、承認を求め提出されている。未解決の問題が完了次第、修正したむねを報告する書類を提出するものとする。どの未解決問題も、安全で信頼できる機能試験が実行されるのを妨げてはならない。 _____ リスト添付

_____	_____	_____	_____
機械設備工事業者	日付	制御備工事業者	日付
_____	_____	_____	_____
電気設備工事業者	日付	ダクト工事業者	日付
_____	_____	_____	_____
試験調整工事業者	日付	総合建設工事業者	日付

事前機能チェックリスト項目は、機能試験の前段階の始動及び当初点検作業の一部として完成されるものとする。

- このチェックリストは、メーカーが推奨する点検及び始動手順書あるいは報告書に取り代わるものではない。
- 該当しない項目にはその理由をこのフォーム（用紙）に付すものとする（N/A= 該当せず、BO= 他者による）。
- もし、この様式を記録のため用いないときは、同レベルの詳細度のものを用いるものとする。
- チェックリストの該当項目の責任業者は、その業者の下請け業者の実行すべき項目の完成と点検についても承認する責任を負う。
- “Contr.(業者)”とある欄あるいは項目の右側にあるカッコの中の省略文字は、この項目の完了を確認する責務を負う業者を意味する。A/E= 建築士/技術者、全=全ての業者、CA =性能検証責任者、CC =制御業者、EC =電気設備業者、GC =ゼネコン、MC =機械設備業者、SC =ダクト業者、TAB = 試運転調整業者、_____ =

承認。 この記入済みチェックリストは査閲済みであり、以下に特記された例外事項を除き、承認済みである

_____	_____	_____	_____
性能検証責任者	日付	施主を代表する者	日付

Notes:

2. 提出された要求文書

よければチェックマークをつけよ。不完全であればそれに関して記載したコメントの番号を記せ。

チェック	はい /い いえ	業者
製造者からの技術資料		
性能データ		
フラッシングおよび清掃計画、複数階のステージングを含む		
運転・保守マニュアル		

夫々の業種に対する書類は仕様書に準拠し完全である ___ はい ___ いいえ

3. 設置状況のチェック

よければチェックマークをつけよ。不完全であればそれに関して記載したコメントの番号を記入せよ。

チェック	はい /い いえ	業者	備考
配管			
配管継手類は完全、配管の支持は適切			
必要な耐震据付はなされている			
配管は適切にラベルが貼られている			
配管は適切に断熱されている			
ストレーナーは設置され清浄である			
締切弁、調整弁は設置済みである			
仕様書に沿って、すべての制御センサーの近傍にテストポート(P/T)が設置済みである			
フラッシングおよび清浄化計画は提出され承認されている (すべての配管の部分に対し、フラッシングのための最小流速は1.2m/secまたは設計流速の1.5倍である)			
配管システムは適切にフラッシュして清浄化され、仮設配管は撤去されている (報告書を添付)			
ストレーナーの10%と発注者が選んだ低い位置にある(low-point)排水管は、オーナー立会いの下に開けて清浄であることを確認した(下にチェックしたポイントのリストを付す)			
契約図書に基づき配管圧力試験を実施 (報告書添付)			
化学的水処理システムが設置または計画されている			
契約図書に基づき水処理報告書は出済み			
s配管継手周りに明らかな水漏れ認められず			
各膨張タンクに対してASME規格圧力容器のデータシートあるいは証明書が提出され、検査も完了している			

Notes:

チェック	はい / いいえ	業者	備考
膨張タンク(訳注:これは密閉式膨張タンクである)に空気の混入がないこと、完全に水で満たされていること確認済み。配管システム全体空気が抜かれている。			
配管システム高所のエアイベントおよびブリードは問題なく機能する			
弁(ユニットのチェックリストに含まれるコイル弁を除く)			
弁のラベルは装着済みである			
弁は正しい方向に設置されている			
漏れはなし			
弁は全長にわたって容易にストロークし、スパン調整は校正されている(下のカリブレーションセクション参照)			
確実に閉まることを求められる弁は、“校正と漏れ試験手順”に準拠して、通常の操作圧力において漏れがないことが確認されている。リストを記載せよ。: _____			
センサーとゲージ			
温度、圧力、流量を計測するゲージおよびセンサーは設置済み			
配管取付のゲージとBASと冷凍機のパネルの夫々の温度および圧力の読み値が一致する(下の校正の節を参照)			
TAB			
指定された NEBB または AABC の手順書と契約図書に従って、設置されたシステムと調整装置によって調整を完了した			

- パート3のチェックリスト項目は全て当該業種で間違いなく完了している___ はい ___ いいえ

4. センサーおよび操作器の校正 []

この機器に取り付けられた全ての現場取付の温度・相対湿度・CO・CO₂・圧力センサーとゲージ、並びに全ての操作器(ダンパーや弁)は、校正および漏れ試験手順書(Calibration and Leak-by Test Procedures)に記載されている方法と許容範囲に合致するよう校正するものとする。全ての試験機材は、この12ヶ月以内に公認の校正がなされているものとする: はい/いいえ_____. 工場でユニットの中に組み込まれたセンサーは、公認の校正証明書が添付されている限りは、現場での校正は不要である。

Notes:

CHILLED WATER PIPING PREFUNCTIONAL CHECKLIST
PC-_____

センサー或いは操作器の場所	場所についてはOK	初回ゲージあるいはBAS値	計測器による計測値	最終回ゲージあるいはBAS値	パスはい/いいえ?

センサー、場所	場所についてはOK	初回ゲージあるいはBAS値	計測器による計測値	最終回GageゲージあるいはBAS値	パスはい/いいえ?

ゲージの読み = 機器に取付けられた常設のゲージの読み、BAS = ビルオートメーションシステム、計測器 = 試験計測器、視 = 目視による実際の観察記録の範囲と内容が同じで、かつ参照された手順に沿っているならば、上記の表に代えて業者が用意するセンサー確認シートを使用してもよい。

全てのセンサーは、許容範囲内に、校正されている はい

--手順の項の終わり--

Notes: